

市長諮問内容について 第2回推進委員会 (R2. 2. 18) 審議内容

【諮問内容】

戸協第1016号
令和元年12月19日

戸田市自治基本条例推進委員会
委員長 様

戸田市長 菅原 文仁



戸田市自治基本条例について (諮問)

本市では、平成26年7月にまちづくりを行うための基本的な考え方やルールとして戸田市自治基本条例(以下「条例」という。)を定め、その基本理念をより多くの市民に根付かせるために様々な取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、条例制定から5年経過した現在も条例の認知度は低く、まちづくりに関わる市民の固定化や新たな担い手不足が課題となっており、多角的な視点をもとにした手法の検討が求められております。

また、戸田市自治基本条例推進委員会(以下「推進委員会」という。)においては、条例の見直しに関連して、推進委員会の在り方についても検討が必要である、という内容の答申をいただいております。

そこで、条例(平成26年条例第13号)第20条第1項に基づき、下記のとおり諮問します。

記

- 1 より多くの市民に条例の理解を促進し、市民、議会、行政、3者の協働によるまちづくりを進めていくための手法について意見を伺います。

答申希望時期 : 令和3年11月

- 2 これまでに実施した取り組み等を踏まえ、条例推進のために推進委員会として主体的に何を行っていく必要があるかなど、その在り方について意見を伺います。

答申希望時期 : 令和3年11月

※令和2年11月に中間答申願います。

「主体的に行っていくこと、推進委員会の在り方について」**【主な論点】**

- フォーラムの実施をはじめ、引き続き推進委員会として実施機関の役割を担っていくのか、一般的な諮問機関の役割に徹し、推進委員会とは別に啓発活動などを行う実施機関（例：ワーキングチームや委員会など）を組織するのか。
- フォーラム等を実施する実施機関としての役割を担い続けるのか、アクション・プランのような具体的な仕組みづくりや推進委員会として重視する分野の仕組みづくり等を進めていくのか。

【委員から出た意見】

- 第二期推進委員会では、推進委員会が主体的にフォーラム等を実施することに関して委員から様々な意見が出ていた。また、推進委員会の在り方については、「引き続き検討が必要」である旨の答申をしている。その点について、中間答申すると考えればよいと思う。
- 今後の検討内容によっては、条例改正等も必要になってくるかもしれない。
- フォーラム等を実施する実施機関としての役割を担い続けるのか、アクション・プランのようなものを作るなどして仕組みづくりを進めていくのか、今はその分かれ道にいるように思う。
- 引き続き推進委員会がフォーラムを実施する形で進めるのか、推進委員会とは別に啓発活動などを行う実施機関（例：ワーキングチームや委員会など）を組織してフォーラムを実施するのか。推進委員会の在り方をメインテーマにして、別組織の設置などについて検討すればよいのではないか。
- 一般的な諮問機関の役割に徹し、それとは別に啓発活動などを行う実施機関（例：ワーキングチームや委員会など）を組織する手法、推進委員会として全ての役割も担っていく手法、どちらで進めていくか議論する必要があるのではないか。
- 現状、茅ヶ崎市のように全庁的に進めていくことは難しいかもしれないが、推進委員会としてもこれまで様々な取り組みを進めてきたこともあるので、アクション・プランの一部のような形でも、推進委員会として重視する分野の仕組みづくりを進める形をとってはどうか。
- 推進委員会の役割としては、協働を軸として、市民の意識の高まりを継続的に作っていくことが必要だと思う。
- フォーラム、視察などを通して推進委員会としての基礎固めをし、将来的な実績につながるよう進めていけばよいのではないか。